

白井中学校だより

編集・発行
佐倉市立
白井中学校
〒四八九・五六三五
第十一号

「二年間、ありがとうございました」

校長 澤田 法義

日の出からの太陽光が強さを増し温かさを肌で感じる季節になりました。まさに冬から春に移り変わる節目のときです。そして、いよいよ今日から年度の最後となる3月が始まります。最後は次の始まりの準備とも言えます。

振り返ると今年度も新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症の不安がありました。感染症対策に配慮しながら教育活動が実施できました。学校は、これまでと異なる方法や内容をとり入れ、参観行事等も含め工夫をし、様々な教育活動を展開してきました。昨年5月からは新型コロナウイルス感染症の感染症法に基づく分類が2類相当から5類へと移行し、行動制限などもなくなり、以前のような生活へと戻りつつあります。その中で、何かをするときには、以前と同じではなく、その時々状況に応じて、効果的な方法を考え、変化させながら進んでいけたらと思います。

さて、3年生は義務教育が修了し、自分の意志と責任を持ちながら人生を歩むこととなります。未来を拓いていくみなさんが、卒業という節目にさらに成長

《生徒数》

1年	95名
2年	120名
3年	114名
計	329名

※発行日現在

していくことを願ってやみません。また、保護者の皆様におかれましても感慨ひとしおのことと存じます。

先日3年生との入試前の校長面接で、「白井中学校はどんな学校ですか。」という

質問をしました。すると、その生徒は「将来、立派な社会人になるために私たちの自立をサポートしてくれるとても温かい学校です。」と答えたのです。私はこの言葉に感動を覚えました。と同時に、多くの生徒と面談を続ける中で、日頃から様々な経験をさせることであったり考えさせたりすることが、新しいステージに出たときの生きる力や対応力、情報を見極める力、物事に対しよりよい選択する力になっていくのだと改めて感じました。

最後に地域、保護者の皆様には、白井中学校を温かく支えてくださったお陰で令和5年度の教育活動が円滑に進めることができました。本校教育の推進のためにご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今この便りを読まれている、保護者・地域の皆様、その他の皆様、3月に入ったとはいえず、まだまだ十分に冷え込むこともあり。お体には十分ご留意ください。来年度も生徒たちが、安全に健康に、そして楽しい学校生活を送ることができたらと思っています。今後ともどうぞよろしく願います。

を見てくれました。本人はとても喜んでいました。ありがとうございました。」ということでした。
このことは、我々教職員の励みになります。また全校で集まる機会に、直接生徒たちに伝えようと思います。心温まるお話を頂きありがとうございました。

◇トイレ工事終了

昨年から施工していた、トイレですが、北棟のトイレが3月12日(火)で終了し、3月13日(水)から使用できるようになります。これで、すべてのトイレが洋式化され、ユニバーサルデザインやSDGsの視点を取り入れたトイレとなりました。ご協力ありがとうございました。

◇3月の予定

- ※3月1日(金) 3年生を送る会
- ※3月4日(月) ～8日(金)

1・2年三者面談

- ※3月7日(木) PTA理事会
- ※3月12日(水) 一斉下校
- ※3月13日(木) 卒業式
- ※3月15日(金) 全校評議会
- ※3月18日(月) 生徒委員会
- ※3月19日(火) 委員会報告 給食最終日
- ※3月21日(木) 一斉下校 お弁当
- ※3月22日(金) 修了式
- ※3月23日(土) ～31日(日) 学年末休業
- ※4月1日(月) ～7日(日) 学年始め休業

大掃除

◇学校評価について

今年度の傾向としましては、「障がい者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている」、「ユニバーサルデザインの視点から、授業や校内環境は整備されている」、「むつみ学級と他学級の相互理解や交流は、授業や行事の中で行われている」の項目で「わからない」という回答が多くありました。また、「家庭で、予習または復習などの学習習慣が付くような手立てをとっている」や「必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている」に「否定的」な意見が多い傾向がありました。

課題に対する具体的な手立てについて、次の様な意見が出されました。今後、課題解決に向けて、検討していきたいと思いま

課題意識

優先順位	質問	ポイント	肯定:否定:わからない
1	家庭で、予習または復習など学習習慣が付くような手立てをとっている。	28	59% 30% 11%
2	障がい者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている。	29	35% 7% 54%
3	ユニバーサルデザインの視点から、授業や校内環境は整備されている。※ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいう。	30	41% 11% 43%
4	必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている。	36	59% 23% 16%
4	むつみ学級と他学級の相互理解や交流は、授業や行事の中で行われている。	36	38% 2% 56%

優先順位	質問	具体的な手立て
1	家庭で、予習または復習など学習習慣が付くような手立てをとっている。	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭学習ノートを毎日点検し、学習内容のアドバイスを継続していく。授業内でも、ワークなど、習ったところをすぐやるように声掛けをしていく。 ●テスト前の学習計画表点検をし、手助けする。 ●自分で勉強をしようと思える課題を、提示していくようにする。 ●授業開始時の小テスト実施などを工夫する。 ●生徒が自ら学びたいような授業デザインを研究する。
2	障がい者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ●道徳の授業などで扱った内容を学級通信などで紹介していく。 ●学級だより、学年だより、学校だよりなどの紙面や保護者会などで生徒の活動の様子を発信する。特別支援級の生徒が交流学級で、他の生徒とともに活動し、成長している様子を伝える。 ●人権学習での学習内容やポスター掲示などの行っている内容を、HPや学校だよりで発信していく。
3	ユニバーサルデザインの視点から、授業や校内環境は整備されている。※ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいう。	<ul style="list-style-type: none"> ●UD(ユニバーサルデザイン)フォントの使用、日本語だけではなく外国籍の方向けに英語表記や表示にピクトグラムを使い、直感的に理解できるように工夫する。 ●文書関係は、UDフォントを使用する。 ●ユニバーサルデザインとは何かを生徒に伝えると共に、考えていくようにする。
4	必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ●進路だよりなどが確実に保護者に届くよう、おたより配付の際に指導をする。 ●進路情報をどの学年も、いつでも見れるように工夫する。 ●進路に関する情報を学年通信などに掲載する。
4	むつみ学級と他学級の相互理解や交流は、授業や行事の中で行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ●HPや学校だよりで伝える。 ●授業参観などで朝、帰りの会も含め参観してもらう。 ●交流は授業や行事の中で行われているので引き続き行っていく。 ●学級だより、学年だよりなどの紙面や保護者会など、生徒の活動の様子を発信し、様子を伝えていく。